

7月、花は最盛期

初めて訪れるなら大雪山はやはり7月がオススメです。観光客の多い姿見駅周辺、そして山の花を愛でる登山者が訪れる裾合平（すそあいだいら）も高山植物の花が種類も数も最も多い月です。

極めて短い夏に葉を広げ、花を咲かせ、実をつける高山植物ですから、同じ7月でも初めと終わりでは花畑はすっかり様子が変わります。

ピンク色のエゾノツガザクラや白いチングルマなどが文字通りジュウタンのように広がる春爛漫（らんまん）の一角は、たった半月後、渋い赤茶色の綿毛（チングルマの実）の原っぱに変わります。

ポツポツと黄色いコガネギクや濃い青のミヤマリンド

旭岳温泉のオオハナウド



Nature Column (ネーチャーコラム)
自然ガイドなどで活躍する人々をリレーしています。

ウが咲く、秋めいた景色に転換しているのです。

高山の植物もみことな時季ですが、高山とも下界とも違う植物が多い旭岳温泉エリアも週替わり、旬替わりでさまざまな花が咲いていきます。

ヤブ蚊のたいへん多い湿原探勝路でちょっと珍しい花は、淡いクリーム色からピンク色のハクサンシャクナゲ、2割程度しかない花の大きさの中に、ランの花の豪華さを持っているトキソウです。

自然探勝路の道沿い、特にやや険しい見晴し台コースの上部に群生するミヤマホツツジは「象さんのじょうろ」そっくりなめしべが目を引きまします。

今月特にお勧めしたいのは、旭岳温泉でそこ、ここにまるで雑草のように繁るオオハナウドの花です。直径10センチほどですが、小さな花々の綿密で精緻な組細工に、私は毎年ちょっと圧倒されてしまいます。



自然探勝路のミヤマホツツジ

旭岳ビジターセンター 菊地 基



ビニール袋にジュース？

国際交流員
シツシヤノツク・ホンティツパリット

タイでは屋台が多くてストリートフードが盛んな国、と皆さん知っていると思います。日本人がタイに行くとよく驚くことは、屋台での食べ物や飲み物のテイクアウトの仕方です。

テイクアウトといえば、日本の場合はプラスチックの容器、弁当箱などですね。タイも似たようなプラスチック容器はありますが、炒め物や汁物だとそういうパッケージではこぼれそうでなかなか難しいですね。

タイでは、また違う方法があります。それはビニール袋です。ビニール袋に汁物を入れる、といっても想像つかないですね。例えば屋台でアイスコーヒー等の冷たい飲み物を買う時、輪ゴムで縛られた袋が渡されて、その輪ゴム自体もホルダーの役割があり、



飲む時はストローを刺して飲みます。スープ系であれば熱さに耐えられるビニール袋に入れて輪ゴムで縛ります。

輪ゴムの縛り方にも特徴があつて、袋に空気を入れてパンパンに膨らまし、特別な縛り方をすれば汁物は絶対もれません。イメージとしては綿あめの袋のようです。ヌードル、カレー、炒め物など、どんな食べ物でもこのようなテイクアウトの仕方は意外と便利です。

日本に住んでいる私もタイからビニール袋を持って来ちゃいました。このやり方はとても便利で、自分が作った料理をほかの人に分けたい時、重宝します。ジップ・ロックと似たような機能ですが、空気がパンパンに入るのでクッション代わりになつて、持ち歩きやすく気に入っています。

さて、いつも「世界を知ろう！」にお付き合ひいただきありがとうございます。今年の夏に帰国が決まり、今回の記事で私は最後になります。大変お世話になりました。次のタイCIR（国際交流員）も引き続きよろしくお願ひします！